

桐光会へのお礼メッセージ(2024 年度春学期)

#1

この度は、桐光会修学支援金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。
大学進学にあたり、埼玉県に家族で移住してきたため両親ともに再就職となり収入が減りました。家計は大変ひっ迫した状態にありましたが1、2年生の間は両親の貯金で賄っておりました。しかし、貯金も次第に少なくなり看護学科の授業料、教材費、交通費（通学、実習先）など様々な資金を捻出することが困難な状況に陥りました。私自身もアルバイトで得た収入を家計に入れておりましたが、3年生から長期の臨地実習が始まるためアルバイトは出来ません。このような状況の中で桐光会修学支援金を受けることができ、家計への負担が減らせると安堵いたしました。これからも学業に励み2年後に立派な看護師として働き日本の医療に貢献していきたいと考えています。誠にありがとうございました。

看護学科 奨学生本人

#2

この度は採用いただきまして、誠にありがとうございます。今回、桐光会奨学金を申請させていただいた理由は、父が個人事業主となりコロナ等の影響もあり、業績が思うように伸びず、収入が得られなくなり、また母もフルタイムパートとして働いておりますが、妹の専門学校の学費の支払いもある為、生活していくにあたり、学費の支払いが困難になっているため、申請させていただきました。採用していただけた事で、学費の支払いに関して毎日抱いていた大きな不安と焦りが軽減したと同時に、生活していくにあたっての心の余裕が生まれると感じます。今後は、支援していただいているという自覚を強く持ち、自分の思い描いている夢に向かって、より一層学業に励みたいと思っております。卒業後の進路といたしましては、幼い頃からの夢であった保育士となり、大学の講義での座学や演習、そしてボランティアや現場実習を通して学んだ専門知識や子ども達との関わり方をいかしながら、子どもだけでなく、同じ保育者や保護者からも信頼されるような、頼もしい保育者になりたいです。

子ども学科 奨学生本人

#3

この度は、桐光会奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。私が申請した理由は、長年難病により闘病生活をしてきた父が亡くなったためです。父は約12年前よりキャッスルマン病と悪性リンパ腫を患い、治療及び通院中となりました。2020年には腎癌と多発骨転移と診断され、化学医療や放射線治療を繰り返しましたが、2023年より緩和治療を実施し始めることとなりました。その後も病勢は進行し、全身に癌が転移したため、医師から終末期であることを告げられました。長い闘病生活を送り、歩行や排便もままならない状態となり、全身の痛みと先が見えず周囲にも迷惑をかけているという精神的な不安感に耐えられず、自宅にて縊死となりました。父が亡くなり、葬儀費やこれまでの医療費に莫大な費用がかかったことに加え、母や自身の収入では家計の負担を軽減できないため、桐光会奨学金を申請致しました。今回の採用を受け、自身の目白大学での4年間の学びを継続すると共

に、経済的な負担を軽減することが可能となりました。また、自身や母の精神的な助けともなり、私は就職活動に専念することができたため、無事に内定をいただくことができました。これも、桐光会にお力を貸していただけたおかげです。ありがとうございます。今後は、自身の学科での学びをより充実させ、卒業研究に磨きをかけることに力を入れていきたいと考えております。そして、今後も母を支えていけるよう努めたいと思います。改めまして、この度は桐光会奨学金に採用いただき、誠にありがとうございます。

韓国語学科 奨学生本人

#4

昨年1月、母の病気が発覚し、大学生活だけでなく日常生活にも経済的な影響を受けましたが、本学で学び、将来の夢を叶えたい諦めたくない思いから、桐光会奨学金を申請しました。今回、採用を頂けましたこと大変嬉しく思います。ありがとうございます。経済的負担を少しでも軽減することで今まで以上に学業に集中し、成績維持又は向上に向けて勉強することができます。今後は、本学の授業だけではなく、児童養護施設でのアルバイトから実践的に学びや経験、秋に行われる学会へ向けての研究や発表練習などといった経験をしていきたいです。また、それらで得られた学びを授業や3年でのゼミ、4年での卒論などに生かしていきたいと思います。将来は、子どもたちと直接関わる心理師になりたいと思っています。現在は、児童福祉や発達心理に興味があります。児童養護施設にてアルバイトをしていることもあり、そのような環境で生活している子どもと接しているうちに、虐待を受けて、心を閉ざしてしまった子や発達課題を持っている子など、このような施設で生活している子どもを支援したい、また、「過去は辛かったが、この施設に来て辛いと感じることが減った」「この施設での生活で信頼できる大人に出会えた」と、思ってもらえるような環境作りと、支援者になりたいと思うようになりました。それらを実現するためには、今後の大学生活で勉学に励み、心理学検定特1級の取得、大学院進学を目指します。最後になりますがご支援をくださった全ての方に心からお礼申し上げます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#5

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただきありがとうございました。私の父は糖尿病、高血圧の持病があり2年程前から薬物療法を行っていたものの、1月頃から眩暈や倦怠感が強くなり職を続けることが難しくなったため、金銭的に余裕がない状況が続いていました。また私自身も現在大学3年生で長期の実習が始まることでアルバイトができない状況のため、学業を続けられるか不安でした。今回、桐光会奨学金に採用していただき家計の負担が軽減し学業に専念できると考えております。桐光会の皆様のご期待に応えられるよう、今後の実習や国家試験勉強に全力で取り組みます。

看護学科 奨学生本人

#6

この度は桐光会応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。昨年末、父が事故で大きな怪我をしまい、単身赴任中の事故だったため、母は

長い間仕事を休む必要がありました。その分収入が大きく減り、学費を支払うことが難しくなったため、桐光会奨学金を申請しました。今回、桐光会応急支援奨学金に採用していただいたことで、経済的な不安が軽減され、勉学に集中する時間を増やすことができそうです。残り少ない学生生活ですが就職活動や授業など、卒業に向けて精いっぱい頑張りたいと思います。卒業後の進路はまだ決まっていますが、人を笑顔にする仕事をしたいと考えております。抽象的な夢ではありますが、必ず実現できるよう励みたいと思います。最後に、ご支援いただいた桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。この気持ちを忘れずにより一層精進してまいります。

韓国語学科 奨学生本人

#7

このたび修学支援奨学金に、採用していただきありがとうございます。学費等の生活費は全て私自身で支払いをしていましたが、昨年給付奨学金の停止に伴い、一括での支払いが困難になったため、今回の桐光会奨学金を申請しました。今回、学費の支払いが無事にでき、学業に専念することができるようになりました。今後は残り少ない学生生活を悔いの残らないよう、全力で過ごしていきます。現在は、将来の夢である教員になるために勤しんでいます。教育実習にも行っており、教員採用試験も控えています。これからも、学業に専念していきます。最後になりますが、桐光会の方々、今回採用していただきありがとうございます。

児童教育学科 奨学生本人

#8

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、ありがとうございます。私が桐光会奨学金を申請した理由は、父が会社都合の退職となったからです。現在も求職中であり、いつ頃からまた働き始めるのかはまだわかりませんが、今回桐光会奨学金に採用していただいたことで、学費の面での心配は少し解消されたのではないかと考えています。また学費の負担が減ったことで、生活も以前より安定して送れると思います。今後の学生生活に関しては、現在4年生のため就活と論文作成が基本になってくると思います。目白大学を悔いなく卒業するために就活も論文作成も全力で頑張りたいと思います。卒業後の進路に関しては、なりたい職業や将来の夢についてまだ具体的には決まっていないのが現状です。残り1年で様々なことを見聞きし体験することで、なりたい職業や将来の夢などが見つかるのではないかと考えています。また残りの学生生活も充実した1年を過ごせるように全力を尽くしたいです。最後に繰り返しになりますが、この度は桐光会奨学金に採用していただき、ありがとうございます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

#9

この度は、桐光会奨学金のご支援を頂き、誠にありがとうございます。私は四人兄弟の長女で、高校生と中学生の妹が2人、小学生の弟が1人います。父は長年旅行業に勤務していましたが、コロナ禍で転職を余儀なくされ年収が激減しました。父親の収入は下がる一方ですが、私自身の多額の学費や、妹や弟の交通費や学費などの出費が重なっているため、家計が圧迫されていました。そのため、実習などの出費

は私自身のアルバイト代で、多額の学費は日本学生支援機構奨学金で賄っていました。今回の採用により経済的負担は減少しますが、アルバイトを継続してこれからの出費に備えたいと思っております。私は現在看護学科の2年生であり、これから更に勉強も難しくなっていきます。社会で活躍する看護師となれるように勉学に励むと共に、桐光会の関係者皆様及び両親への感謝の気持ちを忘れずに努力していきたいと考えております。ご支援いただいた桐光会の皆様に心より感謝申し上げます。

看護学科 奨学生本人

#10

今回初めて奨学金を申請し、採用していただき誠にありがとうございました。深い感謝の気持ちをお伝えさせていただきます。奨学金を申請した理由は、父の経営している飲食店がコロナ禍や物価高騰の影響で厳しい状況が続き、また姉弟3人年子ということもあり学費面での負担も大きく経済的に厳しい状況の中、昨年父が大怪我をしてしまい、仕事にも影響が出て生活が大変な状況であったため、今年度の奨学金申請をさせて頂いた次第です。採用されたことで期待される変化について大いに意識して取り組んでいきます。学業成績の向上に注力し授業により熱心に取り組むことができると考えられます。また、奨学金を得ることで時間的な余裕が生まれ、様々な学生生活やボランティア活動に積極的に参加することができると考えています。今後の学生生活では、充実した日々を過ごす一方で、貴重な知識やスキルを習得するため、可能な限り授業に真摯に取り組みます。また、大学外で様々な経験を積むことで、多様な視野を持ちつつ成長していけるように努めます。卒業後は、専門知識を活かし、社会に貢献できるような職業に就きたいと考えています。将来的には、社会的な課題に対して解決策を提案し、実行に移すリーダーの一人となることを目指していきます。最後に、再度、この貴重な機会を与えていただき、心から感謝申し上げます。奨学金のご支援によって、学業に励み、将来の夢を叶えるための道を切り拓くことができます。今後も精進し、期待に応える学生となるよう努力していきます。心より感謝申し上げます。

社会情報学科 奨学生本人

#11

この度、2024年1月1日の能登半島地震による被害に遭い、桐光会奨学金を申請いたしました。実家は倒壊には至らずにすんだものの、居住空間の大半が生活出来ない状況であり、一刻も早い生活再建のため、家族共々、それぞれのやれることに取り組んでおりました。そのような折、桐光会の奨学金制度の紹介を受け、今回、採用していただくことになりました。両親に知らせたところ、大変喜び、災害後の先の見えない不安の中、一条の光が差したと受けとめております。今後実家は、兄の就職が決まったこともあり、家屋の立て直しに注力出来ると思います。また、私自身が家計の重荷になってしまうのではないかとという不安も払拭されます。筆舌に尽し難く、どのような言葉をもってしても伝えきれないほどに大変ありがたく存じます。今後の学生生活では、これまで通り、「挑戦」と「思い立ったが吉日」を胸に、最後の1年間ゼミの課題・卒業制作に力を入れたいと考えています。将来の夢は、具体的なイメージは未だ持ててはいませんが、人の感動を作ることの出来る存在も目標にしています。

メディア学科 奨学生本人

#12

昨年12月に父が心筋梗塞を発症し、心臓のバイパス手術を行いました。現在は退院できたものの、後遺症により日常生活もままならず、社会復帰の見通しも未だ立っていないため休職している状況です。そのため世帯収入が大きく減ってしまい、母と私の収入では私と妹の学費を工面することが難しく、桐光会奨学金に申請させていただきました。今回、桐光会奨学金に採用していただいたことで、大学での学びを継続できると共に生計維持のためにアルバイトをしていた時間を今年度自身が受験する社会福祉士国家試験の対策に充てることができるようになり、合格にむけて安心して力を注ぐことができるようになりました。残りの大学生活では一層勉学に努めるほか、様々な資格取得に力を入れ、より密度の濃いものにしたいと考えております。また、大学卒業後は市役所の職員として福祉の面から地域の課題を解消し、社会貢献ができる人材になれるよう精進します。改めまして桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。残すところあと一年となった大学生活を今一度気を引き締め直しより一層実りのあるものにできるよう尽力します。

人間福祉学科 奨学生本人

#13

桐光会奨学金を申請した理由は、両親が単身赴任中であり、家賃や水道光熱費が多くかかっています。父は契約社員、母はアルバイトのため、安定した収入が得られ続けるとは限らず、私の兄が精神障がい者であり無職のため、今の経済状況では私の学費を支払える能力がないからです。今回、採用されたことで、学業とアルバイトの両立状況を改善できます。現在、大学の学費は全て私自身が支払っていますが、毎年100万円以上の学費を支払うことはとても厳しく、アルバイトをしています。アルバイト代を学費に充てているため、ほとんど休みがない状態です。ですが、今回採用されたことにより、今現在少し疎かになっている学業に専念することができます。今後の学生生活では、桐光会奨学金に採用されたことを自覚し、何事にも諦めずに取り組みます。今まではアルバイト優先だったため、やりたかったことができないことが多々ありました。しかし、今回採用されたことにより、時間ができたため、時間をしっかり有効活用し、今後の学生生活を悔いなく過ごしていきたいです。私の将来の夢は、テレビ関係の仕事に就くことです。具体的に何になりたいとまでは決まってはいいないですが、この夢は小さい頃から叶えたいと思っている夢です。現在、この夢を叶えるために、大学で日々頑張っています。技術的な面はまだまだですが、テレビ離れと言われていた今の時代でもテレビを少しでも見てもらえるような番組を作りたいという夢を叶えるために、これからも努力を怠らなく取り組んでいきます。今回、このような機会を設けていただきありがとうございました。採用されたことを常に心に留め、これからの学生生活を有意義なものにしていけるように頑張ります。

メディア学科 奨学生本人

#14

私が奨学金を申請した理由は、家庭の経済的負担を減らしたいと思ったからです。昨年父の定年退職により、年収が激減してしまいました。私の短大進学により、定期代や学費などでさらに出費が重なり、経済的に困難になってしまいました。さら

に妹の大学受験も控えているため、そのための塾代や教材費などでも負担が大きくなっていきます。妹もアルバイトをしており、私自身も掛けもちでアルバイトをしていますが、学業の方をおろそかにできないため、奨学金で学費や生活費を工面したいと思いました。桐光会奨学金のご支援により、経済的にも精神的にも、家族の負担が減りました。私も妹もアルバイトの時間を減らし、その分学業に専念できる環境が作れることに喜びを感じています。今後は、この奨学金をいただいたことに感謝をして、これからの学校生活の様々なことを精一杯頑張りたいと思います。自分の将来のために今学べることを全て吸収していき、授業で習ったことを家でも実践し、学びを自分のものにできるよう復習をしようと思います。卒業後は、ホテルの調理場に就職が決まったので、製パンの分野で活躍していきたいです。普段の何気ない日常の幸せのひとつとして楽しんでいただけるような美味しいパンを作っていくことを目標に仕事を頑張っていきたいです。立派な社会人として、社会に貢献できるよう、今後より一層の努力をしてまいります。この度は、採用していただき誠にありがとうございました。

製菓学科 奨学生本人

#15

この度は桐光会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。コロナ禍の影響を受け、父が会社都合での退職となり、私と理系大学に進学した弟の二人ともが学生生活を継続することができるのか不安でした。貴会のご支援のお陰で学費・生活費は少し余裕が生まれ、卒業まで大学生活を継続できる見通しが立ちました。希望していた企業への就職が決まり、卒業後は出会ったすべての人を幸せにする、多幸感にあふれた人になると宣言いたします。今後は入社に向けた準備を進めながら、これまで学んできた成果となる卒業論文を作成し、更にサークル活動にも力を入れるなど、残り少ない学生生活を有意義な時間にできるよう過ごしていきます。私たちがのような家庭の事情によりやる気はあるにもかかわらず学生生活を継続することが困難かもしれない学生に手を差し伸べてくださる制度があると知ったとき、本当に救われたという気持ちになりました。今後も、未来ある学生の夢がお金や家庭の事情などであきらめてしまうということがないよう、活動を広げていただきたいと思います。この度は本当にありがとうございました。卒業後も私自身の夢を叶えるだけでなく、私のような学生の手助けを少しでもできるような大人へ成長をしていき、今回ご支援をいただけたことを忘れず生活をしていきます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人